

## -臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

国立国際医療センター 外科では、本センターで保管している診療後の残余（余った）検体と診療情報等を使って、下記の研究を実施しています。

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問合せ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究に利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の問合せ担当者までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 悪性疾患におけるヒト乳頭腫ウイルス感染についての研究

[研究対象者]

2016年1月1日～2025年12月31日までの間に、国立国際医療センター 外科にて食道癌、頭頸部癌、肺癌、子宮頸癌と診断され、治療を受けられた方

[利用する検体・診療情報等の項目と取得方法]

検体：癌切除後の病理標本（うち、残余があるものに限る。）

診療で病理診断を行った後に余ったものを利用します。

診療情報等：診断名、年齢、性別、手術日、病歴、治療歴、病理検査結果、治療成績、喫煙歴、飲酒歴  
カルテから上記に該当する情報を収集し利用します。

[検査会社への試料送付]

残余の病理標本はヒト乳頭腫ウイルス PCR 検査のために株式会社 AVSS へ提供されます。なお、個人情報に関する安全管理措置を講じ、また検査はあくまでもウイルスの遺伝子を調べるだけですので、個人が特定化されることはありません。

〔主な提供方法〕  直接手渡し  郵送・宅配  電子的配信  その他（ ）

[利用の目的] (遺伝子解析研究: 無)

ヒト乳頭腫ウイルス感染が子宮頸癌の発生に関与することは知られていますが、他の癌との関連については十分に解明されているわけではありません。そこで本研究では、食道癌、頭頸部癌、肺癌、および子宮頸癌におけるヒト乳頭腫ウイルス感染状況を明らかにすることを目的としています。当センターにて切除後、病理診断がなされた過去の病理組織切片を用いて免疫染色等を行います。本研究により得られた結果は学術雑誌への投稿及び学会での発表などにより公表する予定で、個別に説明は行いません。

[研究実施期間] 研究の実施許可日より2030年12月31日までの間（予定）

---

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

本機構倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、利用・提供する検体や診療情報等から氏名、生年月日等の情報を削除し、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱います。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問合せ担当者]

機関長：国立健康危機管理研究機構 理事長 國土 典宏

研究責任者：国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所 臨床連携研究室長 河村 由紀

研究内容の問合せ担当者：国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所 臨床連携研究室長 河村 由紀

電話：03-3202-7181（代表）（応対可能時間：平日9 時～16 時）